

「ふれあい広場」の各コーナーで紹介する人を募集します。自薦他薦は問いません。日ごろ感じている意見や質問なども募集しています。
あて先=〒028-0592 遠野市東館町8番12号
市情報推進課広報広聴係 (☎@2111内線364)

ふれあい広場

ともに歩んで 半世紀

⑧ 駒馬牛町

やすひろ
菊池 泰宏さん (68歳)

トメさん (67歳)



◆お仕事は…丸順工務店で大工をしています。小さいころから物を作ることが得意でした。仕事中はどんなにささいな作業も、手を抜かないことを心掛けています。

◆趣味は…野球。「アインザッツ」というチームに所属しています。

◆自己分析すると…人見知りするタイプです。

◆休日の過ごし方は…今年の3月に産まれた息子の世話をしています。

◆これからやってみたいことは…子どものおもちゃを手作りして、一緒に遊んであげたいです。

おもちゃを手作りしたい

菊池 優太さん

上郷町・21歳・AB型・丸順工務店

青春のトーク



風の人

—詩集「ばっけのおねんね」を出版—

風のうた 水のうた 遠野の子たち

阿部 充さん (下組町・70歳)



ひとこと インタビュー



大きくなったら何になりたい？



佐藤 星矢くん
(宮守小・1年)

自動車のレーサーになりたいです。野村謙選手のようにカッコいいドリフトを決めて、たくさん1位を取りたいです。



菊池 葵ちゃん
(宮守小・1年)

お花屋さんになりたいです。一番好きな花はコスモスです。家では食器洗いや掃除の手伝いをしています。



菊池 桃子ちゃん
(達磨部小・1年)

ケーキ屋さんになって、大好きなマロンケーキをたくさん作りたいです。本を買ってケーキ作りを勉強したいです。



佐々木 大就くん
(達磨部小・1年)

ジャンボジェット機のパイロットになりたいです。好きな勉強は算数で足し算、引き算が得意です。

阿部充さんは、自然のさりげない営みを子どもの目線で詠んだ詩集「ばっけのおねんね」を五月に文芸社から出版。遠野の自然や子どもたちへの深い愛情が感じられる七十八編の詩は、児童文学作家の小山内富子さんからも高い評価を受けています。

阿部さんは、鱒沢小教諭、大槌小教頭などを歴任し、平成八年遠野北小学校長で退職。現在は、親子どもの相談員として週三回、同校に赴き、子どもたちのよき相談

相手として活動しています。「平成元年に心筋梗塞を発症し、子どもたちから励ましの手紙をたくさんもらいました。病室で思い出されることは、遠野の自然や子どもたちのことでした。その思いを書き留めたことが詩を詠むきっかけとなりました。」

平成七年に『あの子へんな子』、平成九年に『満月の一輪車』をそれぞれ自費出版しました。その作品が文芸社担当者の目に留まり、今回『ばっけのおねんね』を出版

することとなりました。今の世の中は、目を覆いたくなる悲しい事件が多発しています。ぜひ大人にこの本を読んでもらい、純粹だった子どものころを思い出してほしいと思います。

遠野の子どもたちは素直で夢を持っていきます。遠野に住み、子どもたちと接していたからこそ詩を書くことができました。これから自然や子どもたちを見詰めたがら、詩を書き続けていきたいと思っています」と話していました。



学校 CLUB 紹介

⑧ 綾織中学校
女子バレーボール部
声を掛け合い
全員でつなぐバレーを

綾織中学校(菊池敏郎校長、生徒七十二人)女子バレーボール部は、一年生八人の計二十人で活動しています。四月に行われた春季大会地区大会で優勝しましたが、県大会では惜しくも一回戦で敗退しました。

キャプテンの鈴木那未さん(三年・レフト)は「攻撃力が持ち味のチームです。しかし、試合の流れによつ

て声が出なくなり、ミスにつながってしまうことが課題です。練習の時からみんなで積極的に声を掛け合い、誰かに頼るのではなく、みんなでボールを拾うことを心掛けています。中総体では明元楽の精神をモットーに、まずは地区大会で優勝すること、そして県大会で二回戦へ勝ち進むことが目標です」と力強く話していました。

顧問の八木千枝子教諭から「一つ一つの練習を大事にすること、声でボールをつなぐことの二つを心掛け、中総体地区大会優勝に向けて頑張りますよ。」

いろいろな苦労を掛けました。体を大切に長生きしてください

—結婚のとき、五十年の思い出は。(泰宏) 親同士が決めた結婚でした。小中学校が同じだったので、顔は知っていました。おとなしい人だったので、この人ならいいなと思いました。

(トメ) 十九歳で結婚しました。まだ若かったので勤まるか自信がありませんでした。親の言うことを守らなければならぬ時代でした。

(泰宏) 昭和三十九年に十竹から始めた

葉タバコ生産を六十三竹まで増やしました。一生懸命働いた五十年でした。

(トメ) 皇居の清掃奉仕に行かせてもらえたことが思い出です。

—今の楽しみ、お互いに言いたいことは。(泰宏) 週に一度の買い物で二人で楽しんでいきます。

(トメ) 買い物や近所の人たちと温泉に行ったり、旅行したりすることです。

(泰宏) いろいろな苦労を掛けました。心から感謝しています。

(トメ) これからも体を大切に長生きしてください。